



ほうき

議会だより

第67号

2021年
10月発行



シトラスリボン贈呈 (JA女性会岸本支部より)

新型コロナウイルスによる差別や誹謗中傷をなくす「シトラスリボンプロジェクト」

おもな内容

- 令和3年度 一般会計補正予算(第3号、第4号、第5号)… 2ページ
- 令和2年度 一般会計決算認定 …………… 3ページ
- 全員協議会 …………… 4ページ
- 陳情・請願 …………… 5ページ
- 常任委員会 活動報告 …………… 6ページ
- 一般質問 …………… 7～15ページ
- 議会の虫めがね・編集後記 …………… 16ページ

人の動き

| | 令和3年10月1日現在 | 前年同月比 |
|-----|-------------|-------|
| 人口 | 10,682人 | △108人 |
| (男) | 5,128人 | △37人 |
| (女) | 5,554人 | △71人 |
| 世帯数 | 3,872世帯 | +25世帯 |

伯耆町議会へのお問い合わせ、ご意見をお待ちしております！

伯耆町ホームページから、「議会の情報」→「議会事務局」ページ項目最下部「オンラインによるお問い合わせ、ご意見はこちら」に進んでいただくと送信できます。



新型コロナウイルス対策事業 補正予算 可決

令和3年度 一般会計補正予算(第3号) 【令和3年9月6日】

| | | |
|------------|-------------------|--|
| 補正前 | 75億300万円 | 〈歳入の主なもの〉 新型コロナワクチン接種対策費国庫負担金 3,839万円 |
| 補正額 | 3,900万円 | 新型コロナウイルス感染症セーフティーネット強化交付金 156万円 |
| 補正後 | 75億4,200万円 | 〈歳出の主なもの〉 新型コロナ生活困窮者自立支援事業 156万円 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 3,839万円 |

令和3年度 一般会計補正予算(第4号) 【令和3年9月17日】

| | | |
|------------|-------------------|--|
| 補正前 | 75億4,200万円 | 〈歳入の主なもの〉 普通交付税 2億2,044万円 |
| 補正額 | 4億5,600万円 | B&G財団防災拠点設置事業助成金 2,711万円 |
| 補正後 | 79億9,800万円 | 〈歳出の主なもの〉 基金管理事業 2億5,000万円 道路改良事業 750万円 B&G財団防災拠点設置事業 2,790万円 小学校修学旅行等支援事業 97万円 中学校修学旅行等支援事業 85万円 町内遺跡文化財調査事業 214万円 農地補助災害復旧事業 600万円 |

令和3年度 一般会計補正予算(第5号) 【令和3年9月17日】

| | | |
|------------|-------------------|---|
| 補正前 | 79億9,800万円 | 〈歳入の主なもの〉 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 800万円 |
| 補正額 | 1,600万円 | 県補助金(鳥取県コロナ禍事業継続緊急応援補助金) 800万円 |
| 補正後 | 80億1,400万円 | 〈歳出の主なもの〉 伯耆町コロナ禍事業継続応援給付金事業 2,700万円 |

議案等に対する各議員の賛否 (○賛成 ×反対)

9月17日本会議

| 議案番号 | 議案名 | 議員名(議席番号順) | | | | | | | | | | | | | |
|------|--|------------|------|------|------|------|----|------|------|------|-----|-----|-------|------|------|
| | | 大床桂介 | 上田博文 | 片岡千明 | 長谷川満 | 杉本大介 | 乾裕 | 永井欣也 | 杉原良仁 | 一橋信介 | 渡部勇 | 細田栄 | 幅田千富美 | 大森英一 | 勝部俊徳 |
| 48 | 専決処分について (令和3年度伯耆町一般会計補正予算(第3号)) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| - | 人権擁護委員候補者の推薦について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 49 | 伯耆町個人情報保護条例及び伯耆町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | - |
| 50 | 工事請負契約の変更契約について (鬼の館長寿命化等改修工事) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | - |
| 51 | 令和3年度伯耆町一般会計補正予算(第4号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | - |
| 52 | 令和3年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 53 | 令和3年度伯耆町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 54 | 令和3年度伯耆町水道事業会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |

みんなが知りたい 全員協議会

全員協議会は9月1日、16日に開催しました
その内容は、次の通りです。

- 人権擁護委員候補者の推薦について
法務大臣委嘱の人権擁護委員として
・ 達磨 晋 氏 (溝口、68歳)
・ 西尾 章子氏 (福原、66歳)
の2名の推薦に同意。
- 工事請負契約の変更契約について
鬼の館長寿命化等改修工事
97万5700円を増額し1億4353万5700円に変更する。
変更内容
裏手フェンス設置、舞台袖階段手すり設置、屋根雪止め設置、LRマイクروفオン工事、吊り天井補修
- 令和3年7月7日、8月13日の大雨による被害状況の報告
(7月7日の被害)
・ 農地畦畔崩落 2件
・ 水路法面洗掘 2件
・ 林道洗掘 1件
・ 取水堰の故障 1件
・ 町道法面崩落 2件
・ 道路への雨水流失 2件
・ その他 1件
(8月13日の被害)
・ 水路法面崩落 2件
・ 水路の破損 1件
・ 町道への落石 1件
・ 町道法面崩落 1件



改修工事が進む鬼の館

- 学校給食会計の公会計化について(協議)
令和4年4月に伯耆町一般会計予算化に向けて議会と協議してゆく。
- 伯耆町公の施設に係る指定管理者の選定方針について(説明)
令和3年度に指定管理者の更新手続きする施設
① ささふく水辺公園 (公募)
② 伯耆町清掃センター (非公募)
③ 伯耆町立小規模保育所こどもパル (非公募)
④ 過疎地域持続的発展計画(令和3年～7年度)の策定(素案)について(説明)
過疎指定区域
溝口地域
(旧溝口町全域)
計画期間
令和3年度～令和7年度の5カ年
策定スケジュール
10月 パブリックコメント公募
11月 町過疎計画案の修正
12月 町過疎計画の議決、計画策定
県へ町過疎計画提出
- ソーラー・フィールド9合同株式会社との開発協定の変更について(説明)
令和3年6月、7月の大雨により開発区域外への土砂流失が発生し、この対応のため、開発協定の一部を変更した。
(変更内容)
① 「太陽光発電事業における発電事業」と開発事業の明確化。
② 工事期間を「令和3年10月29日」まで延長。
③ 「事業期間の明確化」を追加
④ 「事業の中止、廃止に伴う事業者の対応」を追加
⑤ 「管理責任体制、連絡先の明確化」を追加。
- その他の報告事項
① 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告について
② 第2次伯耆町総合計画(平成28年度～令和2年度)の取組み状況について
③ 伯耆町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み状況について

一般廃棄物処理施設用地選定方針の概要 (別表一)

| 施設名 | 可燃ごみ処理施設 | 不燃ごみ処理施設 | 最終処分場 |
|---------|---|----------------------------------|--|
| 施設規模 | 230～250t/日 | 40～43t/日 〔25～26t/日〕 (古紙類除) | 4.3万～21.7万㎡ 〔4.3万～4.5万㎡〕 (焼却残渣除) |
| 処理対象物 | 可燃ごみ、可燃物 | 資源ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ | 焼却残渣、不燃物 |
| 有効敷地面積 | 約22,000㎡以上 | | 約35,000㎡以上 |
| 施設整備方針 | 中間処理施設(可燃ごみ処理施設・不燃ごみ処理施設)として、一体化を目指して整備 | | 中間処理施設と同一敷地内又は近隣の設置 |
| 抽出対象市町村 | 米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町 | | 鳥取県西部圏域全域 |
| インフラ | 1日200㎡以上の水道の供給が可能なエリア | | 抽出条件としない |
| 環境保全 | 施設から300m以内に学校・病院・住宅群がないこと | | |
| 防 災 | 既知の鳥取県西部地震断層及び鎌倉山南方活断層の直上でないこと。 | | |

- 鳥取県西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設の整備に係る一次対象地の抽出について(説明)
令和14年度供用開始を目標とし、建設用地選定のため、左の(別表一)のとおり、基本方針を定め、用地選定委員会を設置して候補地を抽出。

| | |
|--------|------------------------|
| R3.12月 | 評価基準の決定。 1次候補地取りまとめ |
| R4.3月 | 1次候補地絞り込み |
| R4.6月 | 2次候補地順位付け |
| R4.8月 | 最終候補地評価、答申 |

みなさんからの請願・陳情は次のとおりとなりました

請願・陳情に対する各議員の賛否（令和3年9月定例会）

| 陳情番号 | 議員名（議席番号順） 件名 | 結果 | 大床 | 上田 | 片岡 | 長谷川 | 杉本 | 乾 | 永井 | 杉原 | 一橋 | 渡部 | 細田 | 幅田 | 大森 | 勝部 |
|-------|--|-----|----|----|----|-----|----|---|----|----|----|----|----|-----|----|----|
| | | | 桂介 | 博文 | 千明 | 満 | 大介 | 裕 | 欣也 | 良仁 | 信介 | 勇 | 栄 | 千富美 | 英一 | 俊徳 |
| 陳情第7号 | 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情 | 不採択 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | - |
| 陳情第8号 | 人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること | 採択 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |

(※) 勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

内閣総理大臣等に提出した意見書

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書

沖縄戦では一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、多くの尊い命が失われた。糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある「平和の礎」には、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦などで亡くなった24万1593名の氏名が刻銘されている。

糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域は、1972年の本土復帰に伴い、戦争の悲惨さや命の尊さを認識し、戦没者の霊を慰めるために、自然公園法に基づき、戦跡としては我が国唯一の「沖縄戦跡国定公園」として指定されている。同地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた県民や命を落とされた兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも戦没者の取骨が行われている。

さきの大戦で犠牲になった人々の遺骨が入った土砂を埋立てに使用することは人道上許されない。よって、下記の事項が速やかに実現されることを強く要請する。

記

- 1 悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないこと。
- 2 日本で唯一、住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の事情を鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体となって戦没者遺骨収集を引き続き推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

鳥取県西伯郡伯耆町議会

〈提出先〉

| | | |
|--------|--------------|-----|
| 衆議院議長 | 国土交通大臣 | } 様 |
| 参議院議長 | 環境大臣 | |
| 内閣総理大臣 | 防衛大臣 | |
| 外務大臣 | 沖縄及び北方対策担当大臣 | |
| 厚生労働大臣 | | |

皆様からの伯耆町議会へのご意見お待ちしております!!


① 伯耆町ホームページから、「議会の情報」をクリック。



② 「議会事務局」ページ項目の最下部、「オンラインによるお問い合わせ、ご意見はこちら」ををクリック。



協働の町づくり事業 議会調査概要（中間報告）

| 地区名 | 日光地区推進協議会 | 二部地区活性化推進機構 |
|--|--|--|
| 開催日 | 令和3年 7月26日（月） | 令和3年 7月29日（木） |
| 地区人口 （R3.4.1） | 632人(H20.4) → 444人 | 1,291人(H20.4) → 989人 |
| 高齢化率 | 53.4% | 39.2% |
| 65歳以上独居世帯 （R3.4.1） | 42世帯(H20.4) → 20世帯 | 104世帯(H20.4) → 67世帯 |
| 主なイベント 行事 （ 〇〇 のイベントはコロナで中止されたイベント） | 環境美化、義方公民館 野菜即売市、山菜を食べる会、日光清流まつり、軽トラ市、添谷楽校祭、鳥取環境大交流、日光地区運動会、駅伝大会、日光ふるさと祭り | 農産物販売イベント、環境美化、歴史講演会、ハロウィンイベント、菊花展、二部地区運動会、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会、カローリング大会、たたらまつり、外来種駆除作業 |
| 地域の 主な課題 | 空き家対策、買い物支援、農業後継者不足、旧日光小学校の活用、集落が点在 役員の高齢化、固定化 | 空き家対策、若者の地区外流出による担い手不足、買い物支援、高齢化による農業施設の維持、鳥獣被害対応 |
| 各地域の 議会調査写真 |  場所 日光公民館 |  場所 二部公民館 |

総務経済常任委員会 活動報告（中間報告）

調査事項

「日光地区協議会、二部地区活性化推進機構の活動状況について」

調査委員…乾 裕、上田 博文、幅田 千富美、大森 英一、細田 栄、永井 欣也、片岡 千明

総務経済常任委員会では、協働のまちづくり事業交付金を受けている日光地区協議会と二部地区活性化推進機構における、少子高齢化、また近年の新型コロナウイルス禍による交流制限のなかでの活動状況について、各地区の会長並びに集落支援員、公民館長と本委員会の議員による意見交換会を行いました。

両地区とも、高齢化が進むなかで、さまざまな取り組みや課題も抱えておられることも伺いました。さらに、この秋に両地区で活動しておられる団体の皆さんの活動状況について意見交換をする予定にしています。

教育民生常任委員会 活動報告

調査事項

「伯耆町立中学校の部活動の状況について」

調査委員…杉原 良仁、大床 桂介、勝部 俊徳、渡部 勇、一橋 信介、杉本 大介、長谷川 満

部活動の現状について令和3年9月14日、教育長、教育次長から説明を受けた。

- ・部員がいなくなった場合
日本中学校体育連盟の規定に従って、合同チームあるいは休部・廃部にしている。
- ・合同チームはその年の部員数で変動する。秋季の新人戦は、1、2年生だけの部員で行うため、来年度新入部員が入れば、合同チームを解消して単独チームとなる。
- ・溝口中学校の野球部は昨年3年生が卒業して1名残ったが外部チームへ移管し、部員がいなくなった。
- ・部活動の現状について
全国的な問題として教職員の時間外労働の問題がある。国の働き方改革に伴い、「部活動ガイドライン（文科省）」を遵守して部活動の指導を行っている。
- ・教員の部活指導
職員の問題として教職員の時間外労働の問題がある。国の働き方改革に伴い、「部活動ガイドライン（文科省）」を遵守して部活動の指導を行っている。
- ・顧問について
なるべく複数人の教員を配置することが望ましいとされているが、現状では1人の顧問で運営している場合もある。
- ・指導者について
外部指導者の確保が難しい状況ではあるが、教員のOBあるいはそのスポーツに精通している方に指導いただいている。伯耆町の指導者は県内他校に比べて多い。
- ・部活動の地域および民間移行について
他市町で実践研究が行われているが、完全な民間移行の段階まで至っていない。各学校の顧問が主となって運営しているところでは円滑な運営ができつつあるが、学校と民間クラブとの区別が難しい。
- ・地域移行と言ってもその地域も指導者の人材確保が難しい理由から、当面は教員がカバーしていく形になるのではないかと。当面は実践研究の課題と成果を見ながら進めていくことになる。

一般質問 町政を問う!

一般質問とは、議員が町長等(執行機関)に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

8人の議員が一般質問を行いました。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

令和3年9月7日 開催

| ページ | 主な質問事項 | 質問議員 |
|-----|--|---|
| 8 | 1. 令和3年7月豪雨の伯耆町における被害状況について 2. 今回発令された高齢者等避難について ほか | 大床 桂介  |
| 9 | 1. 住民検診のあり方(がん検診)について 2. デジタル庁設置に伴う伯耆町の取り組み及び影響は | 渡部 勇  |
| 10 | 1. 通学路の合同点検について 2. 飲酒運転根絶にむけた施策について ほか | 乾 裕  |
| 11 | 1. 人口減少対策について 2. 景観保全対策について | 上田 博文  |
| 12 | 1. 防災・減災の取り組みについて 2. コミュニティスクール事業の推進について | 永井 欣也  |
| 13 | 1. 災害が想定される時の町の対応について | 片岡 千明  |
| 14 | 1. 新型コロナウイルス対策について 2. コロナ禍における事業者支援策について | 長谷川 満  |
| 15 | 1. 環境保護盛土規制について 2. 国保税の引き下げ、改善について ほか | 幅田千富美  |

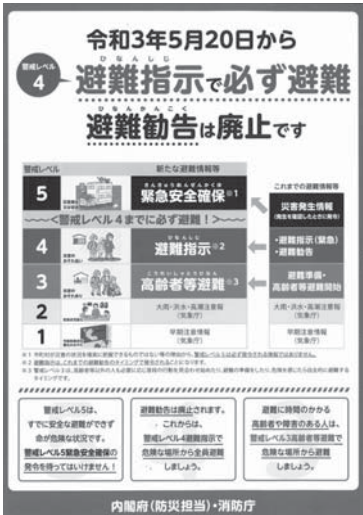
スマートフォンなど携帯電話で一般質問の映像が流れるyoutubeの二次元バーコードはこちらです。



町政を問う

7月豪雨災害に対する上細見日野川堤防護岸工事の効果はあったか

町長 護岸の改良と河床掘削により大きな効果があった



大床 7月12日に発令された高齢者等避難の状況はどうであったか。

気象庁ホームページより

上細見区内の日野川



国土交通省 中国地方整備局 ホームページより



総務課長 大規模な災害は発生していないが、住家の擁壁崩壊1件、町道法面崩壊2件、町道への雨水流出3件、農地の畦畔崩壊2件、取水堰の故障1件等があった。

総務課長 区長会を通じて、要介護者、障害者等の方を対象に家族の支援が困難な方で、助けを希

大床 令和3年7月豪雨は県内外で大きな被害を生じたが、町の被害状況はどうであったか。

総務課長 避難者は溝口公民館3名、二部体育館2名、そのうち災害時要援護者は1名であった。

大床 災害時要援護者の避難時誘導について

望される方を登録した災害時要援護者名簿を作成している。町、集落、民生委員、社会福祉協議会、警察、消防で共有している。健康対策課では75歳以上の方に優先順位をつけ、土砂災害警戒区域の方に避難を促す電話連絡をしている。



大床 桂介



ユーチューブ動画はこちらから

今回発令された高齢者等避難発令について問う
総務課長 災害時要援護者名簿を作成し必要な支援を行っている

大床 障害の特性に合わせた避難誘導は検討されているか。

町長 それぞれの障害をお持ちの方に支援者があり、支援者の要請に基づき行政として必要な対応をしている。

大床 今回の豪雨で上細見日野川堤防護岸工事の効果はあったか。今後の河川工事の予定は。

町長 護岸の強化・河床掘削をしており大きな効果を上げたと考え。国土強靱化計画に則って今後の河川改良を行っていききたい。

大床 県内でため池の崩壊による被害が発生したが、町内にあるため池の



今回の豪雨で発生したため池の崩壊（県中部）

管理者の把握はできているか。ため池ハザードマップの進捗状況はどうか。

産業課長 ため池の管理者は県と情報共有しながら把握できている。ため池ハザードマップは町内にある防災重点ため池を対象に、年3〜4か所のペースで作成していく。

町政を問う

今 2人に1人ががんになると言われている

健康対策課長 **がんになる人が多く、また死亡の重大な原因である**

| がん種別の生存率 | 5年 (2012~13年) | 10年 (08年) |
|----------|------------------|--------------|
| 前立線がん | 98.5 | 98.7 |
| 乳がん | 92.1 | 87.5 |
| 子宮内膜がん | 84.4 | 83.0 |
| 大腸がん | 72.6 | 67.2 |
| 胃がん | 72.1 | 66.0 |
| 非小細胞肺がん | 46.8 | 34.5 |
| 肝細胞がん | 44.7 | 21.8 |
| 胆内胆管がん | 18.9 | 10.9 |
| 小細胞肺がん | 11.7 | 9.1 |
| 膵臓がん | 11.9 | 6.5 |

※()内は診断年。国立がん研究センターによる



渡部 勇



ユーチューブ動画は
こちらから

渡部 今年4月に国立がんセンターからがん種別の生存率が発表され、これによるとがんと診断された人の10年生存率は59.4%だったとある。そこで、がん検診の目的は。

健康対策課長 がんを早期に発見し、適切な治療を早期に行い、がん死亡

を減少させることである。

渡部 がん検診の利益・不利益は。

健康対策課長 早期発見・早期治療で死亡率減少、そして、「異常なし」と判定された場合、安心を得られること。

渡部 がん検診で「異常なし」と判定された場合、安心を得られると言われたが、「異常なし」と判定するのは誰か。

健康対策課長 がんにより1人の医師の場合がある。

渡部 検診は進んでいるが感染防止対策は。

健康対策課長 密を防ぐため、完全予約制を取り入れ、最大の感染予防対策で検診事業を行っている。

デジタル庁設置に伴う伯耆町の取り組み及び影響は

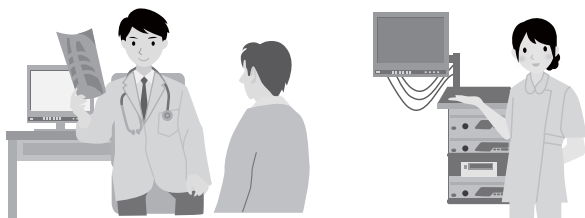
町長 9月1日にそれぞれの法執行に伴い国の組織が設置され、ようやく進みだした

渡部 国がデジタル庁を9月に設置された。本町の取り組み、併せて、町民への周知をする必要があると考える。所管する担当課は何処になるか。

町長 まずは企画課が担当し対応することになる。当面は行政システムのデジタルの一元化を図る。

渡部 現在各課で扱っている町民の情報は今後、デジタル化され一本化になるか。

町長 基本的には役所の中の話で、住民の皆さんに対しては、手続き手法が広がる。一方で情報弱者の方に目を向けなくてはならない。



町政を問う

通学路の合同点検で新たな安全対策は

教育次長 19件の調査結果を各関係機関で精査中である



飲酒運転ゼロの啓発

乾 合同点検の実施は。

無責任な行動によって子供たちの命が奪われることは二度とあってはならない。通学路の安全確保と子供たちへの安全教育を丁寧に進めていきたい。

乾 本年、千葉県八街市^{やちまた}で飲酒運転のトラックが児童5人を死傷させた事故について教育長の認識は。



乾 裕



ユーチューブ動画はこちらから

乾 飲酒運転に対する厳罰化が進んだが、依然として十分に対応しているとは言えない。本町として、飲酒運転根絶をはか

乾 飲酒運転に対する厳罰化が進んだが、依然として十分に対応しているとは言えない。本町として、飲酒運転根絶をはか

教育次長 8月20日で10件の調査を行い、内容については各関係機関において精査中である。

教育長 文科省より7月9日付けで通学路の安全点検に関する発出があった。本町では、平成26年度から毎年8月に学校関係者等が通学路の安全点検を実施している。

企画課長 飲酒運転根絶に特化した活動としては、本年7月15日ガンバリウス、大山ガーデンプレイスにおいて来場者にチラシや啓発グッズを配布し飲酒運転根絶を呼びかけた。

飲酒運転根絶に向けた施策は

企画課長 ガンバリウス・大山ガーデンプレイスで黒坂警察署等と連携し飲酒運転根絶の啓発を実施

飲酒運転根絶に向けた施策は

教育長 学習指導要領に

乾 飲酒教育の実施について。

企画課長 伯耆町有線テレビで過去5年間に、飲酒運転撲滅やCMを、57日間放送。区長協議会にて、飲酒運転根絶を集落にも呼びかけるよう区長にもお願いした。その他にも、チラシの配布、ポスターの掲示、町広報誌への掲載など行っている。

乾 情報発信の状況は。

乾 白ナンバー業者のアルコール検査義務化について。

意義づけられており、小・中・高等学校の保健体育の授業を中心に指導が行われている。

知器による飲酒検査を行い呼気中のアルコールの有無を確認し、記録し、日々の安全運行に努めている。

知器による飲酒検査を行い呼気中のアルコールの有無を確認し、記録し、日々の安全運行に努めている。

分庁総合窓口課長 旅客自動車運送事業運輸規則に規定される「みどりナンバー営業者」に準じて乗務する運転者に対し、乗車前後にアルコール検

乾 スクールバス等運転者のアルコール検査は。

分庁総合窓口課長 法改正になれば、バス事業を行う分庁舎と事業用自動車を規定以上保有する本庁舎が対象となる。

町長 関係法令の改正があり、基本自治体に新たな役割が与えられるようであれば、詳細に確認し対応したい。

乾 コロナ禍における消防団活動の状況は。

総務課長 啓蒙活動を中心に、各分断が活動している。火災出動は7件。コロナ以前からも日頃から訓練を重ねており啓蒙活動、消防機材の点検等に取り組むことなどで団員の意欲維持につながっている。

知器による飲酒検査を行い呼気中のアルコールの有無を確認し、記録し、日々の安全運行に努めている。

知器による飲酒検査を行い呼気中のアルコールの有無を確認し、記録し、日々の安全運行に努めている。



消防団操法大会

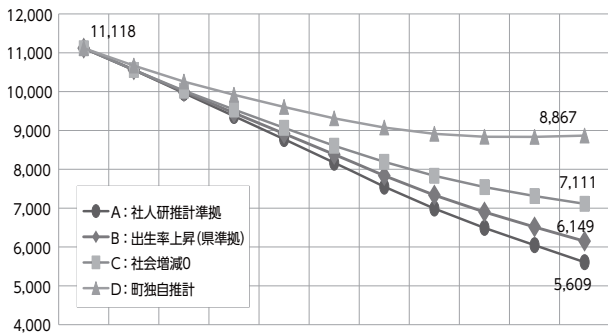
町政を問う

町内の若者のUターン支援や結婚支援などの支援さらに必要でないか

町長

広域的な団体を通じて情報発信、イベントへの機会提供を実施

伯耆町人口推計シミュレーション



上田 博文



ユーチューブ動画はこちらから

上田 人口減少問題は、将来の町づくりの大きに関わってくる。町長は人口減少対策にどのように取り組んでいくのか。

町長 人口減少社会を受け入れて、減少を緩やかにしてゆくかが大切。教育や行財政の安定させる

ことにより、住民に不安を与えないこと。また雇用の創出も大切である。

上田 Uターン希望者への支援や町内未婚者への結婚支援の施策がもつと必要ではないか。

町長 今住んでいる人の満足度を高め、成人式や、ケーブルテレビを通じてUターン希望者へ情報発信

町社会福祉協議会での結婚相談窓口は、可能性があるか相談してみたい。

上田 人口減少

伯耆町景観形成条例の策定の検討について

町長 規制の側面があり、住民合意が難しい。個別法で対処したい。

対策の効果はすぐには現れにくい、今から役場内でプロジェクトチームを立ち上げて検討すべきでないか。

町長 人口戦略がテーマとなる地方創生総合戦略の策定をプロジェクト体制で実施している。

上田 大原千町地区に個人住宅が建設される情報を把握しているか。

企画課長 7月に不動産業者に、県景観形成条例に基づいての手続きの可能性がある旨を伝えた。

上田 鳥取県の景観形成地区であるが、農耕をしている住民と、住宅を建設し住民となられる方の間にトラブルを生じないように町として土地幹旋業者に対して開発指導

に関わらないのか。

町長 業者から問い合わせがあれば、住民とのトラブルの懸念があることを伝える。

上田 大原千町地区の景観保全のため電線地中化を再度検討しないか。

町長 現在、町道岸本大原線は、県道移管の話が最終段階であり、すでに町として再検討の段階は終わった。

上田 伯耆町には大山を背景とした自然景観、夜景、星空観察等の素晴らしい景観保全や、この景観を損なう行為からの抑制、また歴史を活

かした町づくりのために伯耆町独自の景観形成ガイドラインや景観形成条例を作成しないか。

町長 規制という側面があり、住民の合意が難しい。このため開発指導要綱やそれぞれの個別法で対処してゆきたい。条例制定は、議会内部で検討するのが望ましい。



大原千町からの大山(伯耆富士)

町政を問う

地球温暖化対策推進法改正への対応は

町長 安全・防災リスクを考慮、できることから取り組む



県道大滝白水線落石防護柵 (栃原入口付近)

町長 基礎自治体の首長として、法規制強化の方向には賛成。

永井 今後、懸念される課題などは。

町長 町独自ではなく、県が行う際、必要あれば町も立ち会おうと申し出ている。

永井 熱海市の大規模災害を受け、本町が実施した点検・確認等の有無は。



永井 欣也



ユーチューブ動画はこちらから

永井 県道大滝白水線は、基準雨量に達する度に通行止めとなる。対策工事の状況は。

地域整備課長 3箇所対策工事が進められている。栃原入口付近の落石防護柵は完成し、大坂集落付近2箇所のバイパス工事等は令和7年度の完成予定。

町長 県道の管轄部局と役割分担しながら、工事が迅速に進むよう協力が協調を行っていく。

永井 防災の観点からは少し離れるが、地球温暖化対策推進法改正への対応は。

町長 法改正では、安全・防災リスクが考慮すべきテーマだが、できることから取り組む。

広く地域全体で子育て・学校教育を進めるには

教育長

「ふるさとキャリア教育」で

地域の人材・教材を活用

永井 本町の地球温暖化防止実行計画に紙おむつペレット燃料化事業は含まれていないか。

地域整備課長 この事業は含まれていない。

町長 次の実行計画の改定する機会があれば、ポイント重視したい。



教育ネットワーク会議の様子

永井 本町の全小・中学校がコミュニティスクール

となっており、まち全体で子どもを育む地域と共に創る学校の推進を掲げている。

学校支援ボランティア制度の登録者数は。

教育次長 令和3年8月末で180名です。

永井 直接的に関わっている方は限定的である。広く地域全体で子育て、学校教育を進めるためには。

教育長 「ふるさとキャリア教育」の推進で、地域の人材・教材を活用した学習を展開。

永井 CSディレクターの役割は。

教育次長 学校教育運営協議会と地域学校協働活動をコーディネートする

こと。

永井 コミュニティスクール事業の評価は。

教育長 大変効果があり、自分たちの住んでいる地域を意識するようになった。

先般の全国学力調査でも、ふるさとに関する回答が全国に比べても高い数値である。地域の皆さんの取り組みも大きな影響を与えている。



ボランティアの方と芋の苗植え(岸本小)

町政を問う

災害が想定される時の情報発信にトリピーメールの活用を

町長 受信される住民の事も考え対応したい



片岡 千明



ユーチューブ動画は
こちらから

片岡 現在本町の災害が想定される時の情報発信は、防災無線、ホームページが活用されているが、町外で働いている若い人には届いていないと思われる。情報をより多くの町民にいち早く届けるため、トリピーメールの活用を検討する考えは。

町長 トリピーメールは、多くの情報が発信されるため、受信される住民の方のことも考える必要がある。

総務課長 本町では、防災行政無線、ホームページ等で情報発信しているが、多様性等を考えトリピーメールの活用を検討していきたい。

片岡 8月13日に開設された溝口地域の自主避難所は、翌14日の12時に

閉鎖されたが、その時大雨警報は継続中で、15時には、溝口観測所で水防警報の出勤も発表され、その後も日野川の水位は降り続けた。確かに鬼守橋上流部での河床掘削により、多量の水がスムーズに流れるようになったが、避難判断水位まで20cmを切る位になると不安にな



トリピーメール

る。こうした時に早目に地域にあった情報を出される考えは。平成30年9月30日の夜に溝口の街内から下流の集落に避難指示が出されたが、この時は、夕方高齢者等避難準備情報が出されていたため、集落でも避難の準備が出来、スムーズに避難出来た記憶がある。

町長 8月14日の、日野川の水位については、県、河川事務所等と連絡を取り上流域の降雨量、増水のスピード等を見ながら安全と判断し情報を提供していない。

片岡 空振り、今は素振りというそうだが、早め、早めの情報を提供する考えは。

町長 不確かな情報を頻りに出すのはいかなも

のか。出さなければいけない時には、今までと同じように提供する。

片岡 現在溝口の街内の避難所は、溝口公民館になつているが、住民は8月1日で、689名、住所だけある人を考えても、少なくとも550名の方が、生活されていると思

われる。平成30年9月30日に溝口公民館に避難した人は140人位と聞いているが、超満員で、残りの人は、武道館、溝口体育館の駐車場の車中で過ごされた。避難所の見直しを検討する考えは。

町長 避難所の見直しを検討する考えは 地域ごとに見直しを検討

町長 言われる様に当時は、かなり不手際があったと思うが、職員のノウハウも向上しており、溝口公民館にこだわらず、武道館、溝口体育館も利用されたと考える。溝口の町内だけでなく、避難所の見直しは検討していく。



溝口水位観測所

平成30年9月30日

大雨の時の日野川

日野川河川事務所撮

町政を問う

新型コロナワクチン接種事業の総括は

町長

集団接種で役割分担が明確化できた。
11月と2月に補足分の追加接種を行う。



長谷川 満



ユーチューブ動画は
こちらから

長谷川 町一番の課題であるワクチン希望者への接種の実施体制や流れについて、総括してどのような見識か。副反応での症例、未接種の方への対応などは。

町長 医師の方、担当課を中心にチームワークを作り、まとまった体制・ローテーションがしっかりとできた。医療機関ごとの個別接種より集団接種に軸足を置いたことで、役割の明確がなされうまくいった。9月末で集団接種会場は一旦閉じるが、11月と2月に補足分の追加接種を行い、機会を設けるように計画している。(補足接種も無料)

88.9%。全体で1回目接種が82.6%、2回目接種が70.1%。副反応で厚生労働省への報告は2件あったが、いずれも回復。会場での副反応はアナフィラキシーで救急車を呼んだことはなく、持病が起因での救急車搬送は1件。気分を悪くされた方、恐怖心があつた方も休まれて回復して帰られるなど目立った重大な副反応はなかった。

長谷川 集団接種を進めるなかで、現行で進めている他の予防接種、また乳幼児検診、集団検診等に生かせる改善ポイントなどはないか。

町長 電話での対応は双方のストレスも高い。途中からインターネット予約主体が楽になった。



スムーズなワクチン接種体制

ネット予約はデジタル化への取り組みの有効なポイントとなり、一部取り入れでも全体の電話対応も減りスムーズになるの。今後研究していく。会場の動線、入り口での案内役でストレス軽減につながった。インフルエンザでも同様に集団接種の

飲食・観光業などの事業者支援策は 町長 県費と合わせ 補正予算の追加をする

検討もしたが、近年感染者自体が少ないので、現状の個別接種で様子を見る。

長谷川 各種報道の影響により、客足が昨年以上に途絶え時短・休業など本町内でも目につくようになってきている。事業者への聞き取りでも6割、7割と売り上げダウンしているお店もある。

伯耆町の直接的支援・間接的な支援策は。また、飲食店クーポンの新規発行などの考えは。

町長 外食などのモチベーション下がっているのは間違いない。ワクチン接種による行動緩和も提言がされている。今議会でも、影響を受けている宿泊・飲食・観光業・ウェディングなどを中心に、国から配分のあつた

事業者支援分と県費と町費を合わせて追加予算措置を行う。
クーポン発行などは換金手数料などの事務費がかかるため、それならば町民への直接支援で可処分所得を減らさない方向にし、そこから消費が生まれる対策が本町には合っている。



一時休業で人流を待つ居酒屋

町政を問う

町内の土砂災害警戒区域は何ヶ所か

総務課長 防災計画の中で明示しており、201ヶ所となっている



幅田 千富美



ユーチューブ動画は
こちらから

幅田 7月に熱海市で発生した大規模土石流災害後、国交省が「盛り土」の総点検を開始。県は「盛り土」規制条例を年内に制定めざすとしているが、町内の現状とその対応、また、全国一律の厳格な事業者規制の法整備が必要ではないか。

町内の土砂災害警戒区域は何ヶ所か。

総務課長 防災計画の中で明示しており、201ヶ所となっている。

幅田 県は右記以外、急傾斜地、高い崖など100ヶ所程度、点検に加えるとしているが町内にあるか。

地域整備課長 町内で1ヶ所あるが、8月20日の点検で問題はない。

幅田 今回の大雨の降雨状況は。

課長 最大時間雨量、7月7日6時、福岡地区47ミリ、最大連続雨量7月7日から11日の5日間で370ミリ。

幅田 地球は温暖化による気候変動で非常事態となっている。

日光ゴルフ場跡太陽光発電施設の対応は。

企画課長 6・7月豪雨で土砂が1000㎡流出したため、県、地元、業者で協議の上、新たに排水工事の拡充と開発協定の変更を予定している。

幅田 二部地域での西部風力発電計画に対する対応は

企画課長 風車の設置場

所、工事道路等、具体的計画は明らかではないが、盛り土については不明である。なお、盛り土は県の許認可である。

幅田 県の工事残土搬入予定の小町地内防災広場の見直しが必要ではないか。

課長 細心の注意を払い搬入の予定。

幅田 残土発生から搬出処理に至る流れを管理する仕組み、厳格に規制できる法整備が必要ではないか。

町長 全国一律に、国が決めること、意見は述べる。

盛り土規制の法整備が必要

町長 国が決めること、意見は述べる

- ☆この他に2点の質問を行いました。
- ①国民健康保険に、子どもや、障害者に均等割保険税をなくし、低所得者に窓口負担の減免制度等、税の引き上げ、改善について
 - ②加齢性難聴者の補聴器購入に対し、公費助成制度の創設について



静岡 熱海で土石流

伯耆町富江地区で夢を追う 高住正人さん(56歳)に取材しました



―自衛隊員からのチャレンジジ―



質問
農業されるようになった経緯を教えてください。

親類の紹介で、農地を購入したのがきっかけです。また、テレビドラマ「北の国から」が好きで、北海道の富良野と富江が重なったことと、米子駐屯地在職中に日光演習場に度々足を運んだことがあり、その時に見た大山の姿が好きで、ここで農業することに決めました。

質問
現在のお仕事についてご紹介ください。
また、前職はどのようなお仕事でしたか？

3年前まで、陸上自衛隊に所属していました。その後、富江で、白ねぎ、メロン、シイタケを栽培しています。

質問
現在の住所はどちらですか？
一日のスケジュールを教えてください。

米子市上福原に、妻と2人暮らし。犬2匹を飼っています。
毎朝3時半に起床して妻と一緒に犬の散歩。8時ごろ富江に到着して作業を始めます。お昼は持ってきた弁当を食べ、夕方5時から6時ごろまで作業をしています。その後、ミケ浜共同選果場に立ち寄り帰宅し、20時に就寝します。

質問
地域住民の方とのお付き合いはどうですか？

車のタイヤがはまった時に地域の方に助けていただいたり、農業の相談にものっていただいて、地域の人には良くしていただいています。私自身も季節の清掃作業などにも積極的に参加しています。

質問
これまでに苦労されたことは、無かったですか？

就農するにあたり、町外の住民ということで使用できる補助金、支援が少なくて困りました。

質問
家族からの理解は？

土、日関係なく農業ができているのは妻の理解のおかげであり、自由にさせてもらっています。妻には感謝しています。

高住さんの、誠実な人柄と農業に対する熱意を感じた取材でした。
(取材 杉本・大床)



建築中の作業小屋



編集後記

9月議会も終わり、今年も、楽しみな収穫の秋、スポーツの秋がやってきました。

しかし、新型「コロナ」感染から、一年半が立つなか、外食需要低迷による米価下落、飲食店利用や県外移動制限、また本町でも町民運動会などのスポーツ大会の中止、小中学校運動会の入場制限など、未だに私たちの様々な生活に影響を及ぼしています。

一方、全国的にワクチン接種がかなり進んできました。これからは、新型「コロナ」感染拡大に注意を払いながらも、「アフターコロナ」を見据えた新しい生活や行動様式も考えたいものです。

(上田 博文)

【編集】

議会広報常任委員会

- 委員長 杉本 大介
- 副委員長 片岡 千明
- 委員 大森 英一
- 委員 長谷川 満
- 委員 上田 博文
- 委員 大床 桂介

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。